

あおぞらトーク継続中! —「向き合う政治」を実行



11月27日、28日の2日間、6公園で「あおぞらトーク」を開催し、計90名の方々にご参加いただきました。選挙前と比べ、国会議員となり、具体的なご要望が増えました。双方向の対話集会なので、皆さまの声をしっかりと受け止め、「答え」を見出していきたいと思えます。今後、真冬の時期は一旦中断しますが、春先からまた再開します。「向き合う政治」は継続します!

ご支援・ご協力 のお願い

- 1 ポスター掲示
- 2 友人・知人のご紹介
- 3 ご寄付
- 4 ポスティング、ビラ配り
- 5 事務所での軽作業など

ご支援ご協力いただける方は
右記QRまたは事務所まで
ご連絡をお願い申し上げます。



プロフィール

- 1974(昭和49)年10月22日生まれ(47歳)
- 東京大学法学部卒(体育会テニス部・北岡伸一ゼミOB)
- 衆議院議員岡田克也事務所(19年間勤務)
政策担当秘書、外務大臣秘書官、副総理秘書官を務める
- 立憲民主党の公募を経て、千葉8区総支部長に選任
2021年10月衆議院総選挙にて初当選(13万5,125票)
- 家族/妻、息子(小6)、娘(小4)
- 好きな食べ物/冷奴、そば、昆布締め、漬物、コーヒー
- 息抜き/テニス、子どもたちと過ごす時間、妻との晩酌
- 好きな言葉/意志あるところに道は開ける
- 政治を志したきっかけ/10代で目の当たりにした消費税導入や湾岸戦争



ORANGE 通信

衆議院議員

本庄さとし News Letter

本庄さとし

千葉8区
(柏市・我孫子市)

即戦力。



役職

党千葉県連副代表、政調会長補佐
衆議院内閣委員会委員、憲法審査会委員

本庄さとし

「議員バッジ」

国会議員といえば、議員バッジを思い浮かべる方も多いかと思いますが、実はバッジは身分証ではなくて、国会議事堂に出入りするための通行証です。ですから、私は普段、地元では付けていませんが、時々、見せて欲しいと言われるので、スーツのポケットには入れています。先日はうっかりそのままクリーニングに出してしまい、大慌て。幸い、店員さんが取り置いてくださり、事なきを得ましたが…ちなみに、1個1万5千円(!)です。

昨年10月31日の衆議院総選挙において、大きな勝利をいただきました。ご支持、ご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。「一強政治」を変えてほしい。「柏市・我孫子市」を変えてほしい。そして野党候補の一本化。この3つの力が一つに結実した結果です。

「勝負を分けるのはいつでもたった一球だ。だが、プレイしているときは、どれがその一球かわからない。だから、最初から最後までどんな球でも安易に打つな!」同様の言葉は、早稲田大学庭球部OBの福田雅之助氏も述べています。「この一球は絶対無二の一球なり。されば身心を挙げて一打すべし」政治もかくあるべきです。私はこれまで、そしてこれからも、今、自分が為すべき仕事に、一つひとつ全力で取り組みたいと思います。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年、私にとっては大きな変化の年となりました。10代からの、30年来の目標の最初の関門を突破し、衆議院議員として、まずはスタートラインに立つことができました。ご支援・ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。ただ、振り返ってみますと、転機は初当選した昨年ではなくて、立候補を決断した2年前、2019年だったように思います。当時は8割方反対されました。私も確証はありませんでした。しかし、「やるなら今しかない」という覚悟だけは、はっきりしていました。人生も政治も、選択と決断の連続です。何が正しかったのか、どこで間違ったのかなど、簡単に答えは見出せません。そんなとき、私がいつも思い出すのは、大学時代にテニス部の部室で読んだ『エースをねらえ!』の一節です。試合中、宗方コーチが岡ひろみ選手にこう言っています。「勝負を分けるのはいつでもたった一球だ。だが、プレイしているときは、どれがその一球かわからない。だから、最初から最後までどんな球でも安易に打つな!」同様の言葉は、早稲田大学庭球部OBの福田雅之助氏も述べています。「この一球は絶対無二の一球なり。されば身心を挙げて一打すべし」政治もかくあるべきです。私はこれまで、そしてこれからも、今、自分が為すべき仕事に、一つひとつ全力で取り組みたいと思います。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さん、国会に来てみませんか?



日本の政治の中心、特別に思える国会へ。童心に帰って、おとなの社会科見学はいかがですか? 本庄さとし事務所スタッフがご案内させていただきます。国会議事堂内や議員会館内での食事もお可能です。

こんな方にオススメ!

- 政治に興味を持つ第一歩として
- 子どもの頃に訪れたっきり…という方
- 国会議事堂は遠いので普段なかなか行けない…という方
- 「本庄さとし」に会ってみたい…という方 などなど

国会議事堂で購入できるお土産も品ぞろえが豊富ですので、お土産選びも国会見学の楽しみの一つです。

ぜひ、お気軽にお問合せ、お申込みください。お待ちしております!

国会開会中の毎月第1・第3木曜日、もしくは第2・第4火曜日に見学を受け付けております。それ以外の日程でも個別にご相談ください。

本庄さとし事務所

〒277-0863
柏市豊四季949-9 ジュンカ南柏101
☎04-7170-2680 📠04-7170-2681

国会事務所

〒100-8982
千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館1219号室
☎03-3508-7519 📠03-3508-3949

ご意見・ご要望は

✉ info@honjosatoshi.jp

公式ウェブサイト

🌐 honjosatoshi.jp



友だち追加

13万5,125票をいただき初当選



昨年10月31日の衆議院総選挙において、大きな勝利をいただきました。ご支持、ご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

「一強政治」を変えてほしい。「柏市・我孫子市」を変えてほしい。そして野党候補の一本化。この3つの力が一つに結実した結果です。

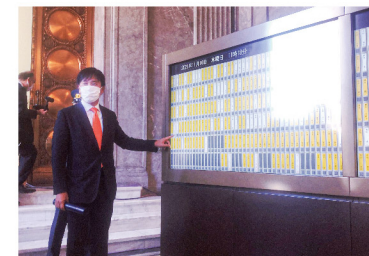
	立憲民主党 本庄さとし	自由民主党 桜田よしたか	無所属 宮岡進一郎
柏市	96,454	59,639	7,960
我孫子市	38,671	21,917	1,885
計	135,125	81,556	9,845
得票率	59.7%	36.0%	4.3%

11.10特別国会で初登院



これまで秘書として19年間通い慣れた場所でしたが、衆議院議員として初登院した国会は、千葉8区51万人を代表として働くと思うと、違った景色に見えました。

これからが本当のスタートです。国民の理解と信頼に支えられた政治、困難な課題を乗り越える政治、そして子どもたちの未来に責任を果たす政治を目指して、国会と、地元で全力で働く決意です。



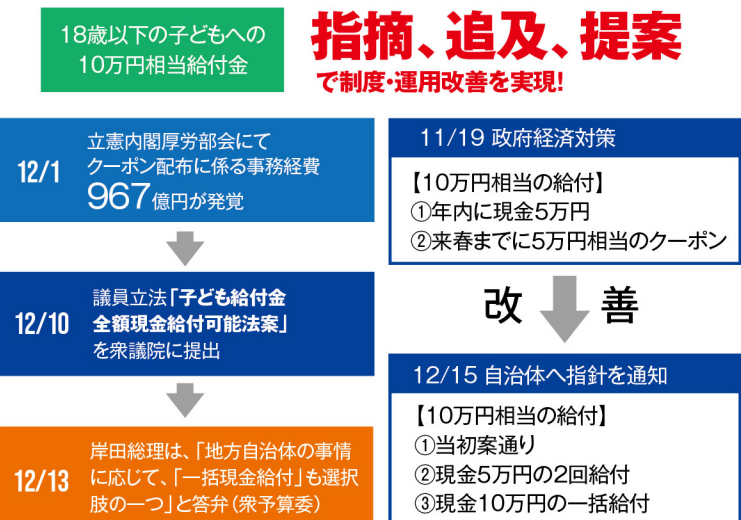
国会正面玄関から初登院



初登院 with 岡田克也代議士

初めての臨時国会、いよいよ通常国会で本格論戦へ

臨時国会 政府への追及だけでなく、積極的に政策提案



12月6日、第207回臨時国会が召集され(12/21閉会)、「令和3年度補正予算案」を中心に議論がなされました。政府案の問題点を指摘・追及し、具体的な政策を提案しました。

例えば、私が担当する内閣府関連では、18歳以下の子どもへの10万円相当給付金に関し、**現金とクーポンの併用支給に967億円の事務経費が計上される**など、懸念がありました。私たちは、自治体の判断で支給方法が決められる「**子ども給付金全額現金給付可能法案**」を衆院に提出し(12/10)、国会論戦の結果、運用改善が実現しました。

立憲民主党は、政府案の足らざる部分を指摘し、国民のために、より良いコロナ対策、経済対策となるよう、今後も取り組んでいきます。

すべての自治体で現金給付に変更した場合、事務経費は約300億円に!! (約670億円のムダ削減)

立憲民主党が臨時国会に提出した議員立法

- 11/11 住民税非課税世帯や大幅に減収した世帯等に10万円を支給する「**コロナ特別給付金法案**」 **本庄さとし 提出者**
- ↑ **政府経済対策に盛り込まれて実現!**
- 12/7 ガソリン価格を値下げする「**トリガー条項発動法案**」
- 12/7 文通費の日割化、残額国庫返納、使途報告を義務化する「**歳費法改正案**」
- 12/17 ワーキングプアの方々の生活を支援する「**コロナ困窮労働者給付金法案**」 **本庄さとし 提出者**
- 12/17 国の安全を確保するための「**領域警備・海上保安体制強化法案**」



令和3年度補正予算ポイント

立憲民主党は、政策効果があると思えない予算項目が多い政府案に対し、独自の「**組み替え動議**」を提出しましたが否決され、政府案が原案通り、成立しました。

主な予算項目

- 住民非課税世帯と子育て世帯へ「10万円相当給付金」 2兆6千億円
- 中小企業、個人事業主を支援する「事業復活支援金」 2兆8千億円
- 個人向け緊急小口資金の特例貸付等の支援 5千6百億円
- ワクチン接種体制の確保 1兆3千億円
- 燃料油の負担軽減 800億円 など

通常国会 国会での所属委員会は「内閣委員会」と「憲法審査会」



1月から第208回通常国会が始まります。2050年の日本を見すえ、今を生きる私たちが、国の将来の方向性を決断しなければなりません。人口減少、気候変動、財政再建、そして格差是正など中長期的な課題にしっかりと向き合い、日本の未来を切り拓くための政策論議に尽力して参ります。

私が所属する内閣委員会の所管は「ゆりかごから宇宙まで」。幅広い分野の課題に取り組む委員会です。あおぞらトークやご自宅の庭先で、また様々な現場でいただいたお声を国会に届け、政策を立案していきます。また、憲法審査会では、「論憲」の立場で、憲法の平和主義は守り抜きながらも、大きく変化する時代の中で、あるべき憲法の姿を、国民のご理解を得ながら、議論を深めます。

「即」戦力。世代交代！ 1期生でも政策立案

NHK「日曜討論」に生出演



11月14日、「新人議員と若手論客 これからの日本の政治は」と題し、NHK「日曜討論」に出演させていただきました。初めてのテレビ出演で全国生放送、さすがに緊張しました。党を代表し、十分に役目を果たせたか、若干不安もありますが、私が考えていることを率直にお話しました。以下、番組内での主な私の発言です。

1 目指す政治は…

国民の皆さまにしっかりと自分の考えや政策を説明する。同時に、現場に足を運び、皆さんの声をしっかりと聞いていく。もう一つは、気候変動や人口減少、格差拡大

など、国や社会が抱えている厳しい課題、困難な課題に正面から取り組む。この2つの意味で、「向き合う政治」を実現していきたい。



2 低投票率をどう考える…

有権者の半分しか投票に行かず、その半分の得票で当選する。「4分の1民主主義」と私は言っている。全く政治に関心のない人、関心はあるが選挙に行かない人の2通りある。行っても変わらないという人たちには、地域に足を運んで直接話していくなど、政治が訴えていく必要がある。今回の衆院選で、1対1の構図をつくったことは、投票率を上げるきっかけにはなった。分かりやすさも必要だ。

若者は政策テーマによって関心を持っていると思う。2016年の参院選では、安保法制が大きなテーマになった。今回はコロナだ。こういうときは投票率も上がる。政局的な視点よりも、具体的な政策テーマを掲げて、若者に訴えていくべきだ。

20代とか世代を意識した、きめ細かな政策の発信も必要だ。被選挙権年齢も、18歳あるいは20歳に引き下げるべき。

3 中長期的な政策課題は…

若者の多くは、目の前のことに関心を持っている。ただ、税金の使い方を変える政治の大きな決断が必要な時期に来ている。目の前のことだけでなく、将来の大きな課題を政治がきちんと位置付けて、若者の皆さんに課題として提示していくことが重要だ。

私は今後10年の重点政策を衆院選で訴えた。人口減少、気候変動、財政の立て直し、この3つの危機がある。加えて、格差の拡大と固定化だ。大切なことは、未来を決めるのは未来ではなくて、今だということだ。国会でしっかり議論していく。

4 新人議員として、どう政策を実現する…

国民に見える形で国民の目線に立った政策論をしていくことがまず大事だ。自分の意見を党の政策に反映していく。議員立法には与野党の枠を超えて与党にも協力をさせていただき、政策を実現

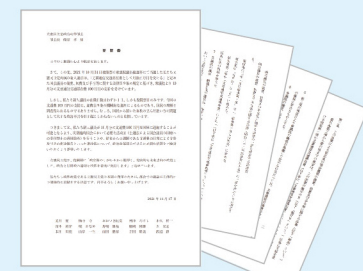
する一つの道としたい。感覚を同じくする同世代の人間が、党派を超えて国会や政治を変えていくために、永田町の風土を変えていきたい。

国民の理解、納得がいく国会改革を！ 一新人議員で要望書を提出

11月17日、立憲民主党の新人議員15名全員の連名で、党政治改革部会に「**要望書**」を提出しました。その内容に沿う形で、同日開催の政治改革部会では、①**文書通信費の日割り支給**、②**10月31日分の100万円などの国庫返納**、③**領収書付き使途報告**。これら3点を基本に立法作業を始め、12月7日、議員立法「**歳費法改正案**」を衆院に提出しました。

総額3億円になる文通費の国庫返納は、立憲民主党が最初に提案したものであり、さらには立憲案には歳費の日割り支給の例外となっている、この度の衆院解散時の総額8,000万円の衆院歳費の国庫返納、使途報告の透明性確保の条文も措置しています。

立憲民主党は「**改革政党**」として、身を切る改革に積極的に取り組んでいます。



要望書と歳費法改正案